



育英西中学校

主任 本村 文枝

学際的单元について (IDU : **I**nter**d**isciplinary **U**nit)



学際的な学習とは、2つ以上の学問分野または教科の知識体系や知るための方法を理解し、それらを統合して新たな知識を創造するプロセスです。IDU の「ねらい」は、“①異なる分野や教科の知識を発展、分析、統合する。②それぞれ異なる多様な見方を探り、統合する。③コミュニケーション方法や行動の実行方法についての振り返りをする。”です。

また、1つの学問分野の視点ではあり得なかったであろう、現象説明、問題解決、製作物作成、問題提起を行ったとき、学際的な理解を示したことになります。

「2023 : IDU で実施していること」

中学3年生 (実施時期 : 夏休み～2学期)

研修旅行の**旅行記の作成**『保健体育×個人と社会』

中学2年生 (実施時期 : 1学期～2学期)

コミュニティプロジェクトに向けての**コミュニケーションツールづくり**

『デザイン×保健体育』

中学1年生 (実施時期 : 夏休み8月～)

英語を使って**奈良のMAP作り**『個人と社会×言語の習得』

君たちはどう (ものごとを伝えて) 生きるか? 『言語と文学×理科』

「知っている」だけでなく、
表すことで、「理解」しているとする。



**MYPでは、普段から
学際的な指導と学習を
重視して活動をしています。**

知っていますか？

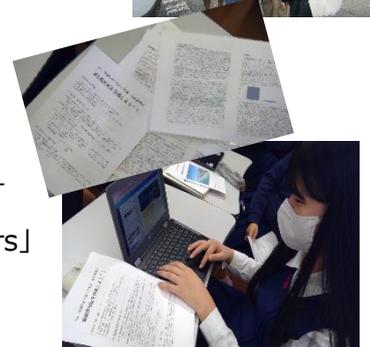
近年、文部科学省や大学では「文理融合」という言葉で、教科・分野を超えた学びをすることを促進しています。中学での新しい学びも、自分で説明することで、自分たちが何を実践しているのか理解がより深まります。ぜひおうちの人と自分の取り組みを話題にしてみましょう！



3年生の学際 in Australia!?

3年生はオーストラリアへの研修旅行 (10月

4日～10月9日) 中に現地で英語を使って『健康な生活を送るために必要なことの調査 (インタビュー) をする!』に挑戦してくれました。オーストラリアへの研修旅行はコロナ禍が明けて、今年が初めての海外旅行です。そんな久しぶりの研修の機会を学際単元の作品作りにも活かしてくれました。なんでもインターネットで調べることができる時代とはいえ、会って話をしないと、本当にはわからないこと・気づかないことはたくさんあると思います。オーストラリアの人々の健康に対する意識は、われわれ日本人とはきっと異なっていたことでしょう。英語でのインタビューは勇気が必要で、難しかったと感じたかもしれません。ですが、実際に異文化の人と話をすると、分かりあう。体験することの大切さに気づくことのできた貴重な経験となったことと思います。挑戦する人「Risk-takers」になれた、素晴らしい研修旅行になりましたね！



2年生の学際：デザイン×保健体育

中学2年生は名刺などの自分を伝えるツールを作成しました。自分らしさを表すこと、そして自分の動きを考えて相手に手渡すことで、正しく自分を他者に伝えることを実践しています。大人になったら当たり前の名刺交換も、生まれて初めて渡してみるという動作に、皆さんはワクワク感を感じてくれていると思いました。初対面の人に会うときに、どうすれば自分をよりよく伝えられるのか考えたこの経験は、社会に出た時こそ生きてきます。どうぞ一つ一つの体験を大切に、学年のみんなと記憶に残る授業を作ってくださいね。



体育と家庭科で学んだことを生かして、コミュニケーションツールを「名刺」で表現し、交換しました。



1年生学際ダブル！ 言語と文学×理科 & 個人と社会×言語の習得

今年度の中学1年生はただいま2つの学際単元に挑戦しています！



国語と理科では「伝える」ということをテーマに作品を作ってくれています。このIDUの目標は“植物の種子に関する創作物（紙芝居や映像など）を製作し、発表を行う”です。国語の視点で植物に関する作品を比較・分析し表現方法を考え、理科の授業では種子を観察し種子に関する実験（実際に紙を種子に見立て、遠くに飛ばす）をしました。「伝える」というテーマは同じでも、教科によって全くアプローチが異なるのが学際の醍醐味ですね。

社会と英語では12月7日（木）午後からは奈良公園近辺に学年全体で出かけて、外国人観光客の方々に奈良の案内を実施する予定です。この学習では奈良の文化についての理解を深めガイドブックを作成し、それをもって外国人の方に英語で説明をします。日本語でも様々な難しさのある体験ですが、皆さんの明るさでぜひ新しいことに挑んでほしいと思います。自分の学んだことが実際に人や社会の役に立つのだということを理解できること、そのためにはもっと知識を深める必要があると振り返ることは、行動することでより実感できます。皆さんが様々な形で誰かのために行動する姿はまさにIBガールの象徴となります！みんなで奈良ガイド体験を盛り多きものにしてください。



学際の授業 in 東京学芸国際中等教育学校

11月22日（水）に東京学芸大学附属国際中等教育学校の授業研究会に教員数名で参加してきました。この日は教科の授業実践を、各教科に分かれて、全国から集まった先生方が見学をする日です。この学校はIB教育を17年前から実践するIB教育の先進校です。今回見学させてもらったのは、中学3年生の【音楽×保健体育：概念「システム」に基づき転移スキルを育成する単元設計】です。授業は、感染症に対する知識を伝えるために「かるた」を作成する、そのかるたに「音楽」を加えることでより効果的に情報を伝えるという実践でした。生徒のみなさんは武道場に座って、簡単な楽器を用いたり、歌を作ったりして、「誰に（受け手に）どうすればわかりやすく、親しみやすく伝えることができるのか」というテーマで楽しく取り組んでいました。皆さんと同じように、他者の意見に共感したり、感謝したりしながら授業を進めていくさまが、IB校として同じだなと感じました。皆さんも、他者を理解し世界に貢献する人間になることに、他校の生徒の皆さんと同じように、一層取り組んでほしいと思いました！

